

平成 30 年度の業務状況について

本院は、北河内二次医療圏における唯一の市立病院として、救急医療や小児二次救急、災害時医療など、公立病院としての役割を担うため、質の高い医療を提供することで、地域への貢献に努めているところです。

一方で、現在の本院が非常に厳しい経営状況に置かれていることに鑑み、平成 30 年度については、以下の方針のもとで、これまで以上に積極的に経営の健全化に向け、取り組んできました。

1. 平成 30 年度の経営健全化の取り組みに関する方針及び重点項目について

(1) 取り組みの 2 本柱について

病院経営の健全化には、入院収益の向上が不可欠であることから、以下の①②を「取り組みの 2 本柱」と位置づけ、目標数値を掲げた上で、取り組みを進めてまいりました。

- ① 地域連携の強化 …………… **【目標数値】 紹介率 55%**
 ② 救急患者の受入増進 …………… **【目標数値】 応需率 85% (日中 100%)**

(2) その他の主な取り組みについて

- 消化器センターの試行運用開始 (H31.1～)
- 新たに外部コンサルタントを導入
- 副院長の責任担当業務制導入等の院内の体制整備
- 院内の職員で構成する「緊急経営改善チーム」による諸活動
- 本院の魅力や診療内容についての積極的な情報発信

2. 平成 30 年度の業務状況（結果）について

項目	算 出 基 礎	平成30年度	平成29年度
病床利用率	一般 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	78.0 %	72.7 %
	93,080 人 / 119,355 床		
一日平均患者数	入院 $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診療日数}}$	255.1 人	237.8 人
	93,097 人 / 365 日		
外来入院患者比率	外来 $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	212.1 %	231.5 %
	197,468 人 / 93,097 人		
救急搬送応需率	$\frac{\text{年延救急搬送応需件数}}{\text{年延救急搬送依頼件数}} \times 100$	88.7 %	84.8 %
	4,798 件 / 5,412 件		

項 目	算 出 基 礎	平成30年度	平成29年度
患者一人一日 当たり診療収入	入院 入院収益 5,260,382,648 円 年延入院患者数 93,097 人	56,504 円	53,874 円
	外来 外来収益 2,249,056,881 円 年延外来患者数 197,468 人	11,389 円	11,185 円
	合計 入院外来収益 7,509,439,529 円 年延入院外来患者数 290,565 人	25,844 円	24,063 円
医業収益に対する 医療材料費の割合	医療材料費 1,513,333,425 円 医業収益 8,228,637,245 円	18.4 %	20.5 %
医業収益に対する 職員給与費の割合	職員給与費 4,716,470,697 円 医業収益 8,228,637,245 円	57.3 %	58.6 %
総収支比率	総収益 9,697,486,594 円 総費用 9,727,666,996 円	99.7 %	89.9 %
経常収支比率	経常収益 9,695,428,904 円 経常費用 9,723,255,571 円	99.7 %	90.5 %
医業収支比率	医業収益 8,228,637,245 円 医業費用 9,327,151,300 円	88.2 %	86.5 %